

[SG2022-1]データ同化の数理と応用: 理論モデルとデータをつなぐデータサイエンス

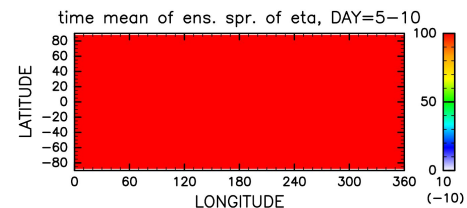
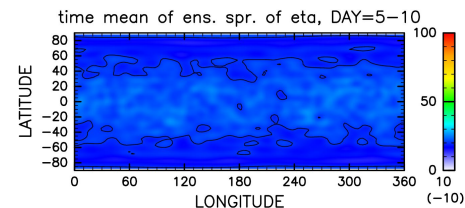
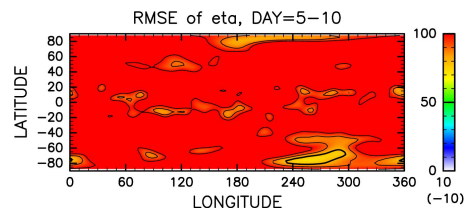
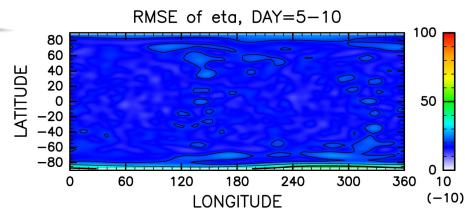
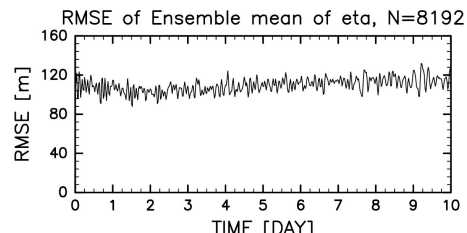
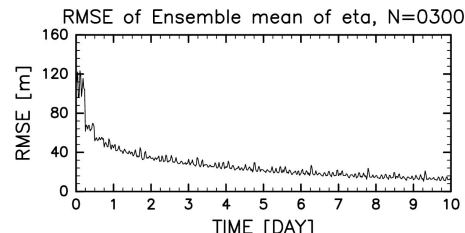
データ同化は、現象の数理モデルのシミュレーション結果に本質的に含まれる予測誤差を観測データによって補正することで、予測力を向上させる手法です。本SGではデータ同化の基礎と応用について講義と実習を軸とした年間の活動を行いました。

実施概要

登録「データ同化A」の出席者は自動的に登録としますが、それ以外でも希望者(後期に「データ同化B」を受講予定など理由任意)は登録可能。

講義 データ同化A(前期)火曜3限目
データ同化B(後期)→不開講のため、SG5に移行

メリット 単位を認定(前期2単位・後期2単位)
理研・京大データ同化研究会への派遣
理研R-CCSの研究活動を知る。



左図: 観測値を同化した場合の誤差
右図: 観測値を同化しない場合の誤差